見附小学校　学校評価だより（令和８年度　前期）

実生の輝きづくり

教育目標　自ら学び　進んで鍛え　共に伸びる　見小の子

重点目標　みんな大好き（共生の心）　自分大好き（自分に自信）　見小大好き（学校が自慢）



昨年度に引き続き、見附小学校では『**みんな大好き　自分大好き　見小大好き**』という重点目標の下、様々な教育活動を行っています。
見附小学校グランドデザインで示した、徳・知・体の３本柱を中心に、学校評価アンケートの結果をお示しします。質の高い豊かな教育活動に向けて、今後もその数値の向上に努めてまいります。



徳　絆プロジェクト　～豊かな心と確かな絆づくり～

目指す姿　思いやりの心をもち、自他のよさや違いを認め合う子
帰属意識を高め、自他のために考えて行動する子

子ども

◆他者のよさを見付け、大切にする
【目標：肯定的評価80%】

友だちのよいところや頑張っているところを見付け、友だちを大切にしていますか。

いつもしている	**75.5%**
ときどきしている	**20.4%**
あまりしていない	2.8%
していない	1.4%

保護者

◆子どもの挑戦を励ます関わり
【目標：肯定的評価80%】

お子さんの挑戦を温かく見守ったり、お子さんが失敗したときに励ましたりしていますか。

よくしている	**61.8%**
ときどきしている	**37.3%**
あまりしていない	0.9%
ほとんどしていない	0%

「温かい学級づくり見小プラン」に基づき、全校で温かな人間関係形成を目指して取り組んでいることが結果として表れてきています。また、保護者の皆様のご家庭での温かな関わりも、子どもたちの他者との関わりに大きな影響を与えていると考えられます。引き続き学校と家庭で連携しながら、他者と協働できる子どもたちを育成していきます。

子ども

◆自己肯定感
【目標：肯定的評価80%】

自分にはよいところがあると思いますか。

あると思う	**35.0%**
どちらかといえばあると思う	**40.7%**
あまりしていないと思う	16.7%
ないと思う	7.7%

自分のよい面を肯定的にとらえている子が多数である一方で、否定的にとらえている子も一定数います。
自己肯定感と難しいことへの挑戦意欲、他者への貢献的な態度との相関関係が見られることから、自己肯定感の高低は、様々な日々の行動に影響していると考えられます。
結果だけではなく経過を価値づけ、小さなことでも自分で決めてやってみた手応えを感じられるように支えます。

２学期重点取組
- **職員同士での子ども理解・情報共有の時間確保と、それを生かした一人一人への声掛け、指導**

知　授業改善プロジェクト　～学力の向上を目指す授業改善～

目指す姿　話をよく聞き、相手の考えを認め、よりよい考えをつくりあげようとする子
これまでの学びを生かして問題解決の見通しを自ら作り出す子

子ども

◆主体的な問題解決意欲
【目標：肯定的評価80%】

授業で分からない問題があって、一人では解決できないと思ったとき、友だちや先生に聞いて解決しようとしていますか。

している	**51.2%**
だいたいしている	**37.5%**
あまりしていない	7.4%
していない	3.9%

◆既習事項の活用意識
【目標：肯定的評価80%】

初めての問題に取り組むとき、これまでに学習したことを使おうとしていますか。

あると思う	**49.0%**
どちらかというとある	**42.7%**
どちらかというとない	8.3%
ないと思う	0%

学び合う関係性、聞き合う関係を大切に学び合う授業づくりをを進めています。そのことが、困ったときでも進んで解決に向けて行動する姿につながっていると考えられます。安心して聞ける、聞き手から対話が始まる授業をこれからも大切にしていきます。対話の中で発した言葉、聞いた言葉が使える知識となり、既有の知識を活用できるような授業づくりをします。

◆読書への取組状況

評価（ ）内保護者項目	子ども	保護者
だいたい毎日（よくしている）	**28.4%**	**14.5%**
４～５日（まあまあしている）	**17.4%**	**23.9%**
１～３日（あまりしていない）	38.6%	29.1%
ほとんどしていない	15.7%	32.4%

読書習慣に関する項目に課題が見られました。短い時間でも活字にふれる機会を毎日とっていくことは読む力の育成に欠かせません。また、この結果は、読書に限らず、**主体的な学習態度の課題**だと読み替えることができます。２学期から全校体制で「自学ビンゴ」を活用した、**学習内容を自己決定する自主学習の取組を行います。**

２学期重点取組
- **学力向上に向けた学年内の課題を明確にした授業改善**
- **自主学習の取組推進**

体　体づくりプロジェクト　～健やかな体と体力づくり～

目指す姿　体力、技能、規則正しい生活習慣の確立を目指して努力し続けられる子

子ども

◆めあてを意識した体育授業参加【目標：肯定的評価90%】

体育の授業では、めあてに向かって運動に取り組んでいますか。

よくある	**56.7%**
時々ある	**34.4%**
あまりない	7.2%
全くない	1.7%

運動会に向けてめあてをもって取り組んだり、体育授業の中でめあてを意識できるようなワークシートを活用したりしてきました。自分のめあてを意識して努力することが子どもたちにとって当たり前になってきています。

◆ゲームやネットの使用時間

月～金曜日の1日当たりの通信機器やゲームの使用時間	子ども	保護者
1時間未満	19.8%	14.5%
１～２時間	47.7%	23.9%
３～４時間	**20.9%**	**29.1%**
4時間以上	**11.6%**	**32.4%**

◆ゲームやネットのルール

ゲームやインターネット等について家族とルールを決めて守っていますか。	子ども	保護者
いつも守っている	**59.8%**	**35.3%**
どちらかといえば守っている	**30.6%**	**48.1%**
あまり守っていない	5.8%	13.1%
守っていない	3.9%	3.5%

家庭で機器の使用について約束を決めている家庭が85.8%と多く、、その約束を守れているかどうかについての項目では、子どもが90.4%、保護者が83.4%と肯定的な回答が多く見られました。お子さんの機器の使用に関心をもってくださっているご家庭が多いことがうかがえます。一方で、**ゲームやインターネットに触れる時間が3時間を超えている子が半数近くにのぼる**ことが分かりました。家族とのコミュニケーションの時間、学習時間が圧迫されていることが危惧されます。**タイムマネジメントできる自己指導能力の育成を目指します。**

２学期重点取組
- **メディアコントロールを意識した生活習慣づくり**
- **メディアの長時間使用と睡眠に関する講演会の実施**

「大好き」を支えてくださる保護者や地域の皆様の存在

○自分の学校のことが好き(肯定的評価合計 **85.2%**)
○見附のことが好き(肯定的評価合計 **92.9%**)

○家庭での役割やお手伝い(肯定的評価合計 **79.7%**)
○学校への協力の意識(肯定的評価合計 **93.9%**)
○いろいろサポーター、MLBなど、様々な形で多くの方から関わっていただきました。

多くの子どもたちが学んでいる学校、住んでいる地域について、素直に「大好き」と言える気持ちをもつことができています。
家庭や地域、それぞれの立場で、皆様ができる限りの支援をしてくださっているおかげです。子どもたちは「大好き」という気持ちを活力に、学校で思う存分挑戦することができています。

タブレットを活用したオンライン授業の実施について
▶欠席時のオンライン授業を希望されるお声をいただきました。体調が悪くて欠席している場合は、体を休めることを原則とします。それ以外の個別の事情については、担任と相談のうえ、実施できる授業で実施します。

学習時のルールについて
▶学習ルールが定着していないことを心配してくださるお声をいただきました。クラスごとに学習のマナー、ルールに大きく差ができないように、職員間で相互に授業をもちあったり、対話をしたりしながら複数の職員が関わって指導にあたっています。大人の目で「社会では通用しないこと」は見過ごさずに、「よくないと思う」と伝えていただけるとありがたいです。

いただいた自由記述のうち全校に関わるものについてお答えします。



いただいたご意見は全職員で共有しています。ありがとうございました。